

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学 2 年 参考 手本

はこの
田中ゆり 小二

川村 美泉 先生

幼・小学 1 年 参考 手本

さとうたろう
ら

佐藤 菜扇 先生

じもみ
やまだなみ 小二

岩垣 若翠 先生

ここのりさ
きく

菊池 富美子 先生

[10月 6 日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年 参考 手本

参考
る
え

小四
高井知栄

種谷萬城先生

小学 3 年 参考 手本

水玉

小三
内田美子

大内熒軒先生

小四
岡山友二

風力

川島舟錦先生

プラ
ン

小三
山田洋

北村白琉先生

[10月 6 日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参考 手本

小六
庭園

広田 栄二

廣瀬 舟雲先生

小学 5 年 参考 手本

小五
青空

大山 和男

辻元 大雲先生

り気配

小六
井崎 愛

名越 蒼竹先生

秋里の

小五
田中小春

大平 邑峰先生

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

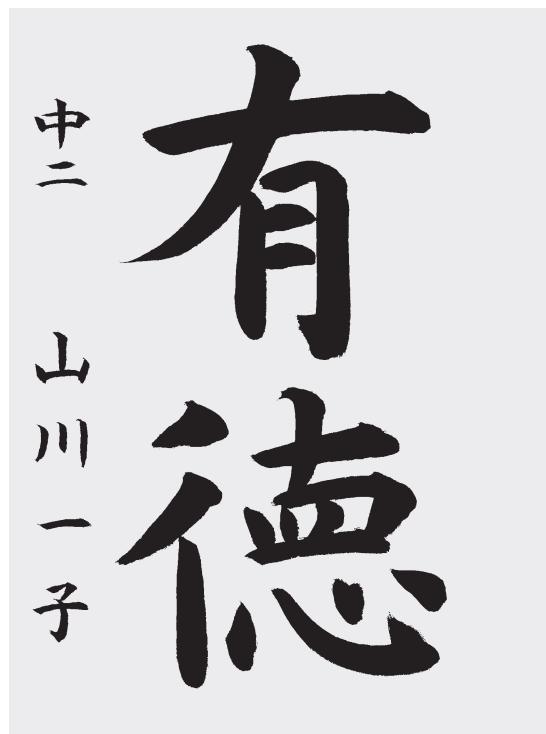
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



下谷洋子先生



千葉蒼玄先生



小竹石雲先生



発展 [中学生]

・有名な古典の名跡に挑戦してみよう

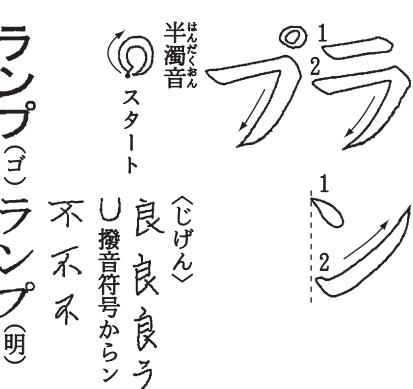
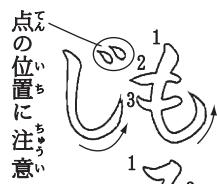
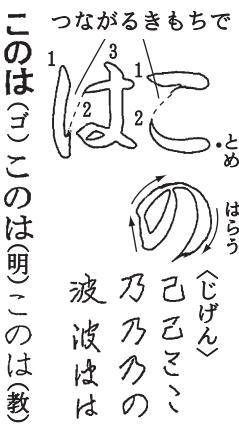
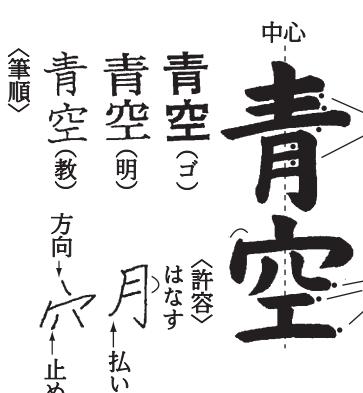
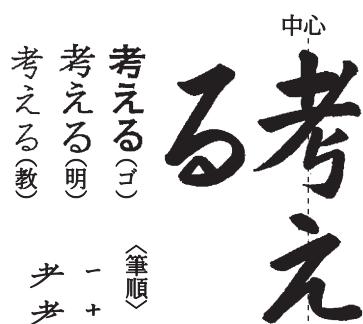
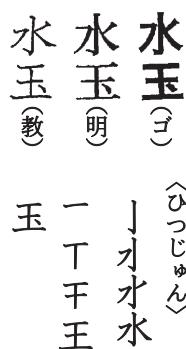
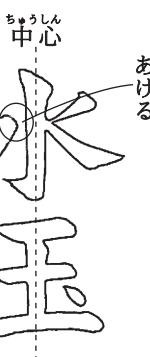
○長い歴史の中で現代に伝わる中国や日本の優れた書のことを「古典の書」とい、古典の書を手本として書を学ぶことを「臨書」といいます。虞世南が書いた孔子廟堂碑は、中国・唐代の楷書の最高傑作の一つです。縦長の整った字形でおだやかな温かみのある線質でゆったりした運筆が特徴です。

※この課題は楷書で書くこと。

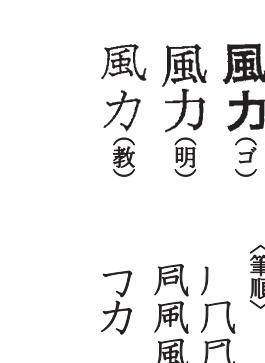
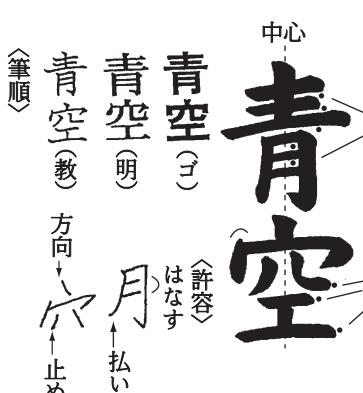
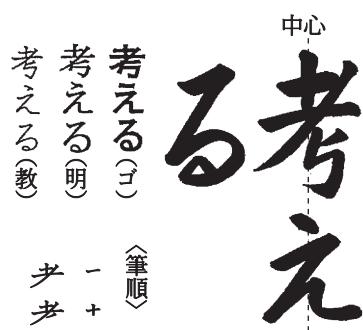
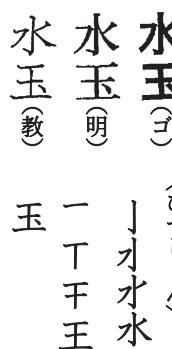
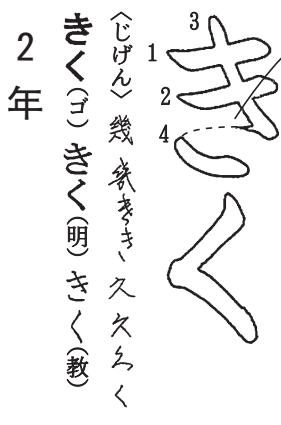
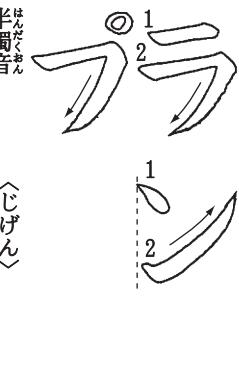
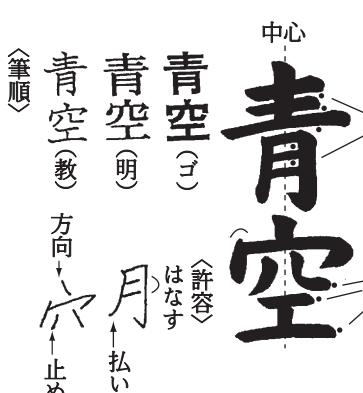
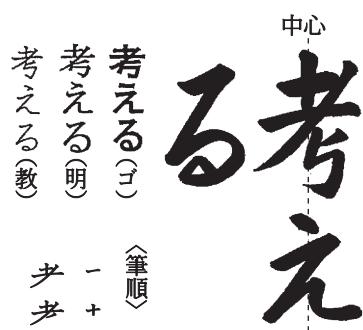
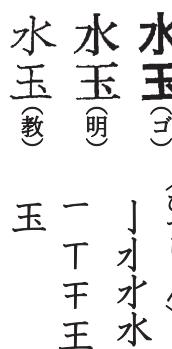
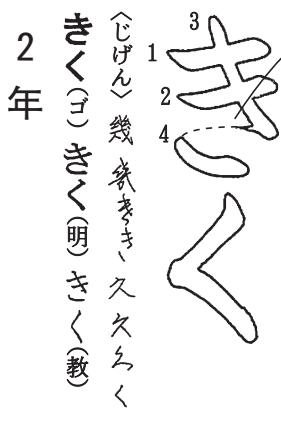
毛筆参考手本解説(1)

1年

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)



もみじ(ゴ) もみじ(明) もみじ(教)
点の位置に注意



「」曰甲里
ニ千禾和秋秋

毛筆參考手本解說(2)

6
年

まっすぐ
出る

出る 庭園 まごすゑ 出

方向

庭園(明)(3)

筆順

廣庭廣庭廣庭

中心

氣配り(ヨ)
氣配り(明)

人一仁氣氣氣

丁酉酉酉酉配

- ・いわしぐも（鱗雲）
- ・鱗雲は秋空に現れるまだらな雲が連なった巻積雲のこと
- ・雲の形が鱗の群れている様子に似ていることから「鱗雲」と呼ばれる
- ・秋の季語

くわ
笑き返す

二千禾和秋

一
三
長
長

The image shows the calligraphy of the phrase '秋夜の長' (Autumn Night). The characters are written in a bold, expressive brush style. Above the characters, the text '点画の省略' (Omission of stroke points) is written, with arrows pointing to specific circular marks on the characters. To the left, the text '筆順' (Brush order) is enclosed in parentheses.

終筆の変化

中
学

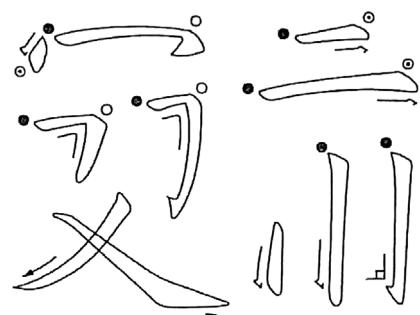
やさしい行書

發展

有德

のひやかた
払い

孔子廟堂碑の基本点画



- 印の部分は穂先を整えて軽く。
- 印の部分は肩を落として穂やかに。
- 印の部分はやや丸みをもたせて止める。

ひらがな の 字 源

(407)

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

| | | | | | |
|----|----|---|----|---|----|
| も | く | し | わ | い | |
| 毛 | 久 | 之 | 和 | 以 | 字源 |
| もも | くく | え | わわ | い | 字形 |

※ 字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。

字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

[10月 6日締切課題]

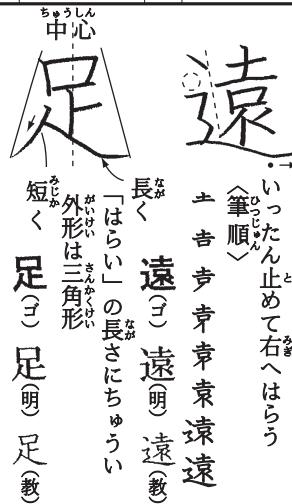
作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

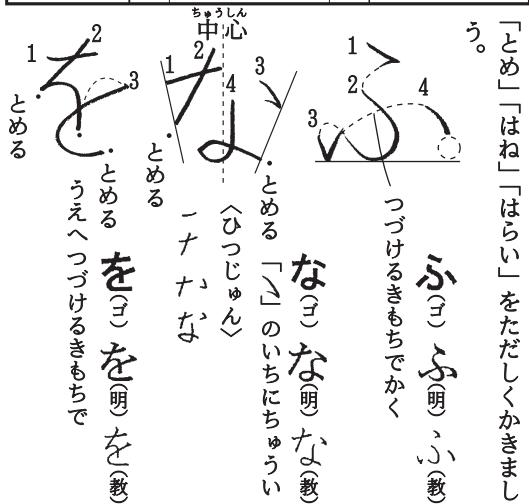
幼・小 学 1 年

| | | |
|-----|------------------|--------------------------------------|
| 支部名 | し み で す | 遠 足 に 行 く の が 樂 |
| 段・級 | | |
| 学年 | 二 | |
| 名前 | 石川つむぎ | |

| | | |
|--------|------------------|-----------------------|
| 支部名 | み ま し た | し ぎ な え を |
| だん・きゅう | | |
| がくねん | | |
| 一 | | |
| なまえ | | |
| つついげん | | |



はらいの方向や長さにちゅうういして書きましょ
う。



「とめ」「はね」「はらい」をただしく書きましょ
う。

白 沢 澄 楽
(筆順)
樂(ゴ) 楽(明) 楽(教)

左右の払いの方向に注意して
つりあいをとる

短く 足(ゴ) 足(明) 足(教)

長く 遠(ゴ) 遠(明) 遠(教)

土 吉 壱 章 篠 篠 遠

「はらい」の長さにちゅううい

外形は三角形

とめる を(ゴ) を(明) を(教)

うえへつづけるきもちで

とめる な(ゴ) な(明) な(教)

「ひつじゅん」

一ナナナ

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

| 支部名 | | | | |
|------|---|---|----|---|
| 段・級 | | | | |
| 学年 | | | | |
| 四 | | | | |
| 名前 | | | | |
| 秋山実月 | い | た | 信 | れ |
| | に | く | 号 | な |
| | 走 | さ | が | ら |
| | り | ん | 青 | 山 |
| | 出 | の | に | に |
| | し | 車 | 変 | 登 |
| | た | が | わ | ろ |
| | 。 | い | る | う |
| | | つ | と、 | 。 |
| | | せ | | |

| 支部名 | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 段・級 | | | | |
| 学年 | | | | |
| 三 | | | | |
| 名前 | | | | |
| 池本一真 | あ | れ | あ | あ |
| | し | な | し | し |
| | た | ら | し | し |
| | の | 山 | の | 天 |
| | 。 | に | に | 気 |
| | | | | が |
| | | | | 晴 |

中心
走

中心
變

中心
号

字形を整え、ていねいに書きましょう。
「口」をへん平に

一画で
書く

《筆順》

号(フ) 号(ハ) 口(ヒ) 口(ヒ)

フ

ハ

ヒ

ヒ

《筆順》

變(フ) 変(ハ) 変(ヒ) 変(ヒ)

フ

ハ

ヒ

ヒ

走(フ) 走(ハ) 走(ヒ) 走(ヒ)

フ

ハ

ヒ

ヒ

走(ヒ) 走(ヒ) 走(ヒ) 走(ヒ)

ヒ

ヒ

ヒ

ヒ

号(フ) 号(ハ) 口(ヒ) 口(ヒ)

フ

ハ

ヒ

ヒ

ヒ

ヒ

ヒ

ヒ

號(フ) 號(ハ) 號(ヒ) 號(ヒ)

フ

ハ

ヒ

ヒ

號(ヒ) 號(ヒ) 號(ヒ) 號(ヒ)

ヒ

ヒ

ヒ

ヒ

號(ヒ) 號(ヒ) 號(ヒ)

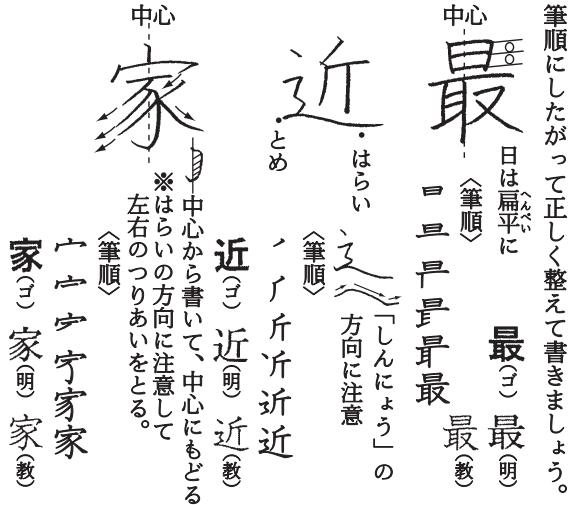
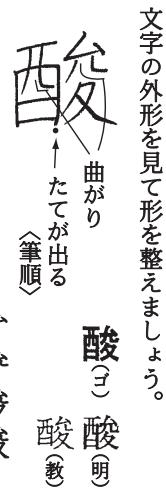
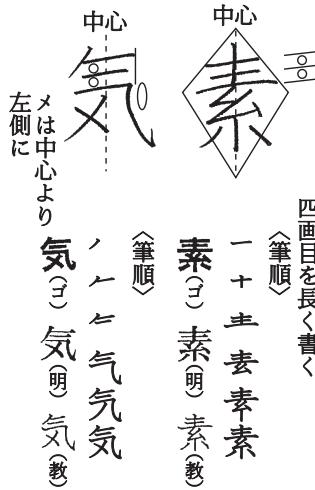
[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

| 支部名 | お | ガ | |
|-----|---|---|---|
| 段・級 | い | ス | 二 |
| 学年 | も | と | 酸 |
| 六 | な | も | 化 |
| 名前 | い | い | 炭 |
| 池 | 気 | 、 | 素 |
| 心 | 体 | 、 | は |
| 優 | で | 色 | 、 |
| | す | や | 炭 |
| | 。 | に | 酸 |

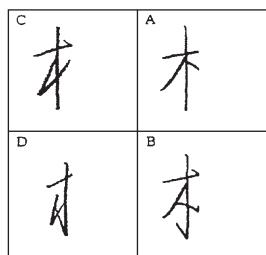
| 支部名 | 作 | 文 | |
|-----|---|---|----|
| 段・級 | に | 書 | い |
| 学年 | こ | て | 思 |
| 五 | と | み | い |
| 名前 | こ | よ | 出 |
| 小野 | の | う | し |
| 晴太 | | | して |



〔10月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

| | |
|-------|--|
| 支 部 名 | |
| 段・級 | |
| 学 年 | |
| 中二 | |
| 名 前 | |
| 中山菜々子 | 陰曆九月十三夜の月を「豆 名月」と呼び、枝豆を供える 習慣がありました。 |



枝豆
(明)

・行書のワンポイントアドバイス
「木へん」の楷書の形（A）と、3つの行書の形（B C D）を書いてみまし
た。いろいろな行書の木へんを覚えま
しょう。

行の中心に注意して書きましょう。

これからのおと題

令和7年11月号～8年3月号までの作品締切日と毛筆課題

| | |
|------|----|
| みんかく | 協 |
| なして | 内 |
| よび全 | 美化 |
| かけた | を委 |
| た。 | 員会 |
| でと | でと |

| | | |
|----------------|---------|---------------|
| 五十年 | 十二億 | 世界の人口は増えつづけた。 |
| 後の人 | の人口は増えて | 今は約八 |
| 球は？ | ある。 | |
| 人々の温かい心に触れるから。 | | |

| | |
|---|----------|
| 祭りはどこか懐かしい気持ちを抱かせる。それは、そこで暮らす人々の温かい心に触れるから。 | 書写と図画工作が |
| | |

| | |
|----|------|
| ろい | どんぐり |
| まし | りをひ |
| た。 | |
| 。 | |
| 。 | |

| | |
|-----|------|
| 小魚 | 秋 |
| すくい | まつり |
| をしま | に行き金 |
| した。 | |
| 。 | |

| | |
|-----|----------|
| とく意 | 書写と図画工作が |
| です。 | |

| | |
|--------|-----------------|
| 旅立つてまき | は、けがをしたまを救いたわる。 |
| 立つてまき | がをしたまを救いたわる。 |
| つてまき | がをしたまを救いたわる。 |
| てまき | がをしたまを救いたわる。 |
| まき | がをしたまを救いたわる。 |

11月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

| 中学生 (全学年共通) | 小6 | 小5 | 小4 | 小3 | 小2 | 幼・小1 | 締切日 |
|--------------------|------|------------|------|-----|-----|------|-------|
| 漢和辞典 運河(孔子廟・集字) | 街角 | ちぎれ雲 | 葉 | 点 | あかり | ひ | 11月4日 |
| くれあきの | 現代の書 | 野原 | 赤い実 | 火山 | リズム | そら | 12月3日 |
| 知字源を | ブランド | 冬山の朝 | 詩人 | マウス | まぼう | お | 1月5日 |
| かしなぎれ | 誠実 | 海月(集字聖・集字) | 理想 | 森 | ひなた | かぶ | 2月8日 |
| 白雪紅梅 | 湖水 | 神祕(集字聖・集字) | 働く | 毛筆 | 馬 | さ | 3月9日 |
| しらゆき | 事始め | 福笑い | 星の光 | 大会 | てがみ | うま | 1月 |
| 三寒四温 | 発展 | クレヨン | 切手 | 金づち | へいわ | な | 2月 |
| たけうま | 氷点下 | 最初 | とりの声 | 土星 | ミルク | おに | 3月 |
| 万里長城 | 公式戦 | 信念 | 竹ざいく | テレビ | きもの | み | |
| 月夜かな 花の上なる | 世界地図 | 花だより | 緑茶 | 白くま | もけい | むれ | |

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

「熱」「烈」の下部には「よつてん（四つの点）」があります。これは「れつか」または「れんが」という部首です。では、「魚」「馬」の下部にも四つの点が並んでいますが、これも「れつか」または「れんが」でしょうか？ 答えから言いますと、これは違うのです。「れつか」を漢字で表すと「列火」「れんが」は「連火」と書きます。これらは、意味が「火が燃え上がっている」ことを示す漢字で用いられる部首名です。「熱」の「四つの点」は、篆書では「火」の象形であり、「燃える火」で下からあぶることによって「あつくなる」ことを表しています。また、烈も「四つの点」は篆書では「火」の象形であり、激しく燃える火によって「激しい」という意味を表しているのです。

ところが、「魚」「馬」の「よつてん」も、もし「燃える火」を表しているとしたら、どうでしょう。焼くという動作を含むことになり、「焼き魚」となってしまい、同様に後者は、かわいります。それでは何か？ というと、魚・馬の篆書を見てください。馬の「四つの点」は「前足2本と後ろ足2本」を表していると考えます。馬の前足を人間と同じように「手」と考えると、4つの点で表すことは、先月号で述べた古代の漢字ルールに矛盾は生じません。

魚の場合の四つの点は、象形文字を見ると「尻びれ」と「尾びれ」の形が変化したものといえます。この2つの「ひれ」の形が篆書の時代になると、なんと「火の篆書の形とそっくり」

| | | | |
|--------|--|--------|--|
| 煮 | | 熱 | |
| 説文或体 | | 説文篆文 | |
| 然 | | 烈 | |
| 説文篆文 | | 説文篆文 | |
| 馬 | | 魚 | |
| 西周 史頌殷 | | 殷 金文 | |
| 説文篆文 | | 西周 毛公鼎 | |
| 馬 | | 魚 | |
| 秦 里耶秦簡 | | 戰國 石鼓文 | |

になってしまったことから、楷書の方も「れつか（よつてん）」と同じ形となってしまったと考えます。ちなみに魚は、「魚」全体で部首「うお・うおへん」となり、馬は「馬」全体で部首「うま・うまへん」となります。これらの漢字の四つの点は、それぞれの動物の姿の部分が変化して四つの点になつたことがわかります。

「煮る」「焦げる」「煎る」の各漢字は、意味から火に関係するということがわかりますので、「れつか」ということがすぐにわかりますが、「然」はいかがでしょうか？ 「然」はこれだけで考へると、「自然」の然といふことが思い浮かび、火との関係がわかりにくいのです。しかし、「燃える」という漢字の中に「然」があることに気づくとわかります。じつは、然は燃の源字であり、火で犬の肉（いきにえとして供えられた犬の肉）を焼くという意味があることから、燃やす意味となつた漢字なのでした。その後、借りて是認（しかり（そのとおり））の意味となつた漢字だったのです。よつて「然」だけでも「（火が）もえる」という意味があるのです。

第103回

漢字の下部の「よつてん」について —「熱」と「魚」の違い

今月のホープ



中三 齋藤香凜 (みやび)

一点一画確かな筆使いで、二字のバランスが良く、名前も見事です。一本の線に自分の気を全部かけるかの如く窺えました。

| 支部名 | 心 | 友 | ス | 午 |
|-----|---|---|---|---|
| 段・級 | が | 人 | ト | 後 |
| 学年 | 伝 | と | が | は |
| 六 | わ | り | あ | 、 |
| 氏名 | つ | と | リ | 玉 |
| 長谷川 | き | げ | ま | 語 |
| 稟 | ま | す | す | の |
| | す | た | 。 | テ |

小六 長谷川 稟 (芳蘭会)

着実な点画と整った字形の見事な作品です。運筆の呼吸もすばらしく、名前まで安定した書きぶりで立派です。



太い線で紙いっぱいに大きく腕を動かし堂々の書き方です。「とめ」「はらい」の、筆使いがとても上手で、見事な仕上りです。

| 支部名 | 心 | 友 | ス | 午 |
|-----|---|---|---|---|
| 段・級 | が | 人 | ト | 後 |
| 学年 | 伝 | と | が | は |
| 三 | わ | り | あ | 、 |
| 名前 | き | げ | リ | 玉 |
| 長谷川 | ま | す | ま | 語 |
| 稟 | す | た | す | の |
| | す | た | 。 | テ |

とても丁寧に書いています。□ (くにがまえ) と口 (くち) のタテとヨコの終筆の出し方が正確で感心しました。

小一 尾藤詩月 (菁湖書)

小三 阿部 梢 (苑書会)

第79回書道芸術院展併催

第77回 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

| | |
|---------|---|
| 会期 | 令和8年2月5日(木)～2月11日(水・祝) 9:30～17:30 ただし、2月11日は14:00まで (入場は30分前まで) |
| 会場 | 東京都美術館(東京都台東区上野公園) |
| 部門 | ① 半紙部門(たて34cm よこ25cm) ※一人何点でも出品できます。 ② 半切1/2部門(70cm×35cm) ※一人3点まで出品できます。 (どちらの部門にも出品できます。) |
| 作品締切・搬入 | 日時 令和7年(2025年)10月20日(月) |
| 審査 | 場所 〒101-0031 東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階 公益財団法人 書道芸術院内 全国学生書道展事務局 日時 令和7年(2025年)10月29日(水)～11月3日(月・祝) |

半切½部門課題(自由課題も可・学年使用漢字で)

| | | | | | | | |
|----|----|----|---------------------------|----|-----------------------|----|--------|
| 小1 | みち | くさ | 左の課題の文字以外のもので、ひらがな2文字のことば | 小4 | 大筆 | 開花 | 光る星 |
| 小2 | はる | ゆめ | | 小5 | 上達 | 実行 | 大空のかなた |
| 小3 | 日光 | 文化 | ひらがな3文字のことば | 小6 | 家族 | 記録 | 七転び八起き |
| 中1 | 息吹 | 信頼 | 共通課題 | ① | 伝統的な技の継承(行書) | | |
| 中2 | 誠実 | 泰然 | | ② | 初心忘るべからず(楷書) | | |
| 中3 | 精進 | 感謝 | | ③ | 努力は夢の実現のためにさあ走れ!(楷か行) | | |
| | | | | ④ | ゆめをかなえる(かな・2ヶ所の連綿) | | |
| | | | | ⑤ | 吹きみだれる風(かな・2ヶ所の連綿) | | |

「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

・出品資格

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

・作品寸法

- ・半紙額内自由
(額内寸 50×38cm以内)
タテ・ヨコ自由

※本紙寸法はすこし小さくして下さい。

- ・マクリのまま出品
(本院で一括表装依頼)

・出 品 料

- ・15,000円
(1人1点、表装料・返送料含む)

・出品手続き

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ送付します。
- ・必要な方はご請求ください。

・出 品 締 切

- ・令和7年10月20日(月)
(学生展作品と同じ)
- ・詳しくは別紙要項をご覧ください。

書道芸術学生版 秋季昇段級試験規定

• • 硬筆

一、しめきり日 10月6日（月）

一、発表 10月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生

たけ（かいしょ）

二年生 ちず（かいしょ）

三年生 今日（かいしょ）

四年生 父母（かいしょ）

五年生 平等（かいしょ）

六年生 追求（かいしょ）

中学校一年生 調和（楷書か行書）

二年生 賛成（楷書か行書）

三年生 勝敗（楷書か行書）

一、受験料 各部一点 600円

毛筆
硬筆
共 一人一点



一、書体

○小学生は楷書（かいしょ）

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人

が毛筆で書く。（幼・小一の方は、学

年を書かなくてもよい）

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

（毛筆・硬筆共）

- 左図のように記入して出品する。
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。
- 例 1001
↑
団体番号

た
け



※10月号の購読部数を越える受験はできません。

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

小学 3 年

小学 2 年

小学 1 年

小三 広中里子

今
日

小二 たうらまい

ち
ず

小一 いしだかほ

た
け

廣瀬舟雲先生

大平邑峰先生

名越蒼竹先生

小学 6 年

小学 5 年

小学 4 年

小六 山川定子

追
求

小五 大山滋

平
等

小四 小林ひな子

父
母

大平邑峰先生

廣瀬舟雲先生

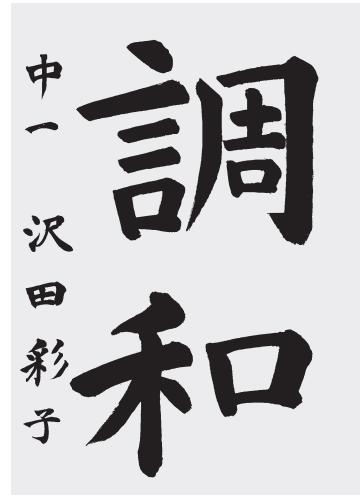
名越蒼竹先生

中 学 3 年

中 学 2 年

中 学 1 年

楷書

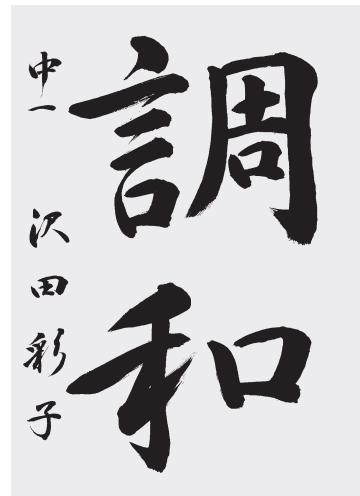


小竹石雲先生

種谷萬城先生

辻元大雲先生

行書



小竹石雲先生

種谷萬城先生

辻元大雲先生

硬筆の部

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
例「ふくい たくと」

支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

※10月号の購読部数を超える受験はできません。

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
一、「空欄」「。」「、」も正しく書く。

一、課題

| 支部名 | | た | わ |
|-------|----------|----|---|
| 段・級 | | か | た |
| 学年 | | ど | し |
| 名前 | 一 なまえ | く | は |
| 大田 小花 | かくいたくと | い | 、 |
| | | て | う |
| | | す。 | |

| | | | |
|-------|----------|----|---|
| 支部名 | | さん | 月 |
| 段・級 | | ほ | 明 |
| 学年 | | しま | か |
| 名前 | 二 なまえ | し | り |
| 大田 小花 | み | み | ち |
| | ち | ち | を |
| | た | た | |
| | 。 | 。 | |

小学3年

| 支部名 | | を | を |
|-------|----------|---|---|
| 段・級 | | か | か |
| 学年 | | し | ふ |
| 名前 | 三 なまえ | げ | し |
| 池本 良太 | ま | ぎ | ぎ |
| | し | に | に |
| | た | 思 | 思 |
| | 。 | つ | つ |

小学4年

| 支部名 | | し | を |
|-------|----------|---|---|
| 段・級 | | み | 取 |
| 学年 | | で | つ |
| 名前 | 四 なまえ | す | 。 |
| 茶畠 友里 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 支部名 |
|-------|
| 段・級 |
| 学年 |
| 中一 |
| 名前 |
| 有本理加子 |

秋の彼岸のこう真つ赤な花を咲かせるヒガンバナは、球根だけでふえる植物です。

| 支部名 |
|------|
| 段・級 |
| 学年 |
| 六 |
| 名前 |
| 好村達矢 |

短歌と俳句は、日本型の詩歌です。

| 支部名 |
|-----|
| 段・級 |
| 学年 |
| 五 |
| 名前 |
| 清原星 |

この日の天気は、午後から強い北風がふく。

秋季昇段級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙(月例と同じ用紙)を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

ご注文は、専用の払込取扱票にて、前納でお申込みください。務所へご連絡ください。

有本理加子

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- | | |
|----------|------------|
| ① 幼・1年生用 | ③ 4・5・6年生用 |
| ② 2・3年生用 | ④ 中学生用 |

料金表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下 (1冊100円+送料)

| 冊数 | 金額 | 冊数 | 金額 | 冊数 | 金額 |
|----|-------|----|-------|----|---------|
| 1 | 280 円 | 4 | 610 円 | 7 | 1,130 円 |
| 2 | 410 | 5 | 710 | 8 | 1,230 |
| 3 | 510 | 6 | 810 | 9 | 1,330 |

硬筆用紙10冊以上のご注文は、1.5割引+送料

10~21 冊数×85円+430円

硬筆用紙22冊以上のご注文は、1.5割引、送料無料

※10冊から21冊までは、1.5割引き+送料に変更させていただきます。

※22冊以上は、1.5割引き 送料無料になります。

秋季昇段級試験 硬筆の部

を受験される方へ

| 支部名 |
|-------|
| 段・級 |
| 学年 |
| 中一 |
| 名前 |
| 有本理加子 |

秋の彼岸のこう真つ赤な花を咲かせるヒガンバナは、球根だけでふえる植物です。

11月号毛筆参考手本（予告）11月4日締め切り分

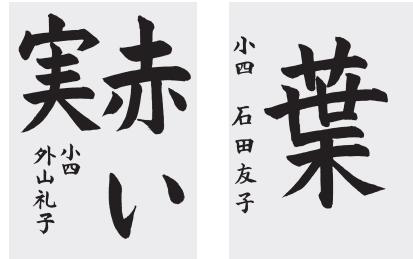
幼・1年



2年



小一
たさきゆう



3年



小三
代田タ美



5年



小五
森一平



中一
原田修二



中一
西村陽香

○秋季昇段級試験の作品締め切りは10月6日（月）、全国学生書道展の作品締め切りは10月20日（月）です。期日厳守でお願いします。皆さんの力作をお待ちしております。

○今月の中学生の課題は、唐・虞世南（558～638）の書「孔子廟堂碑」です。

虞世南は、歐陽詢、褚遂良とともに、唐の太宗皇帝に仕えた官僚で、「初唐の三大家」の一人です。「孔子廟堂碑」は、虞世南の代表作で、歐陽詢の「九成宮醴泉銘」と並び称される唐代の楷書の最高傑作の一つです。特徴は、穏やかで温かみがあり、起筆と收筆は目立たずひかえめ、縱画は向かい合う線がやや外側にふくらんだ「向勢」の字形です。また、転折（角）も丸みを帯びていて、全体的にやわらかな印象を与える書です。皆さんも穏やかな気持ちになつて臨書してみてください。

（悠輝）

11月号毛筆参考手本